

市民参加プロセス計画書：岡崎市共創イノベーション推進戦略の改定

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

製造品出荷額の約6割が自動車関係の製造品であり、自動車産業を中心としたものづくり産業が本市経済を牽引しているといえますが、自動車産業が100年に一度の大きな変革期を迎えており、成長が期待しにくい局面が到来しています。
 このような課題に対し、岡崎市が引き続きものづくりの街として成長していくために、市内企業が新たな事業領域に進出していくことが必要不可欠であると考えています。
 その手法として共創が注目されていることを踏まえて、戦略の見直しを通じて市内企業が共創に取り組むための施策の実施、取り組みを推進するための体制構築を行います。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階	令和6年1月	岡崎市産業労働計画推進委員会	岡崎市産業労働計画推進委員10名（学識経験者、民間有識者、公募等から選ばれた方々から幅広く意見を求めるため）	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取り組みから見えた課題 課題解決に向けた事業の方向性 	今後実施すべき事業の具体的な内容を戦略に反映させる。
構想段階	令和6年1月 令和7年2月	岡崎市産業労働計画推進委員会	岡崎市産業労働計画推進委員10名（学識経験者、民間有識者、公募等から選ばれた方々から幅広く意見を求めるため）	<ul style="list-style-type: none"> 今後実施予定の事業内容 実施予定事業の有効性に関する意見 	共創事業に関する環境の変化を踏まえて実施する事業や戦略の内容を改定する。
	令和6年12月	ものづくり岡崎フォーラム（本市と岡崎商工会議所が共同で運営している岡崎ものづくり推進協議会が主催）	フォーラム参加者約100人（本戦略の主な対象者となるものづくり企業に本戦略のねらいを周知するため）	<ul style="list-style-type: none"> 本戦略のねらい 事業者にとって課題解決につながる内容になっているか 	本戦略に基づき実施する本市の取組が事業者の取組を後押ししている内容になっているかを確認する。
計画段階	令和7年4月	パブリックコメント	全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため）	<ul style="list-style-type: none"> 改定案 改定案に対する意見 	改定案の内容に対する合意を得る。
実施・運用段階					